



東北大学国際法政策センター主催セミナー

BBNJ協定の下での海洋遺伝資源のアクセスと利益配分

2023年6月19日、海洋の生物多様性に関する条約、「国家管轄権外区域の生物多様性の保全と持続可能な利用に関する国連海洋法条約の下での協定」が国連で採択されました。「BBNJ協定」と呼ばれるこの条約は、海洋に関する学術調査や海洋生物に由来する研究や製品開発等にも重要な影響をもたらすものと考えられます。

今回のセミナーでは、「BBNJ協定の下での海洋遺伝資源のアクセスと利益配分」というテーマを設定し、国際法の観点、海洋・遺伝資源に関する自然科学の観点および関連する産業界の観点などから、分野横断的な検討を行います。本セミナーは、「海洋の生物多様性を守り、かつ持続可能に利用する」という地球規模課題に取り組むための「総合知」創出に向けた東北大学国際法政策センターの試みの一つです。

開催日時

2023年 7月 29日 (土) 13:00 - 15:00

開催形式

ハイブリッド (対面 および オンライン配信)

会場

東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟301

13:00 - 13:05

開会挨拶

東北大学国際法政策センター長

植木 俊哉



プロフィール 東北大学理事・副学長／東北大学大学院法学研究科教授／東北大学国際法政策センター長。2004年から2006年まで東北大学法学研究科長・法学部長、2020年5月から2023年5月まで世界法学会理事長、2022年6月から国際法学会代表理事を務める。専門は国際法、国際組織法。

13:05 - 13:35

講演①

「BBNJ協定における海洋遺伝資源のアクセスと利益配分」

東北大学大学院法学研究科 教授

西本 健太郎



プロフィール 東北大学大学院法学研究科教授／国立極地研究所北極観測センター教授、東北大学国際法政策センター副センター長。博士（法学）。専門は国際法・海洋法。国家管轄権外区域の海洋生物多様性（BBNJ）の保全と持続可能な利用に関する準備委員会および同政府間会議において日本代表団アドバイザーを務めた。

13:35 - 13:50

講演②

「データの蓄積が明らかにする海洋環境変化」

東北大学大学院理学研究科 教授

安中 さやか



プロフィール 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻修了。博士（理学）。専門は海洋環境科学。日本学術振興会 特別研究員、国立環境研究所 特別研究員、海洋研究開発機構研究員を経て、現職。世界中の海で測られたデータを数多く集めて統計解析することで、海洋環境の変動を調べる研究に従事。

13:50 - 14:05

講演③

「学術分野、特にカルチャーコレクションや公的データベースにおける協定の影響について」

国立遺伝学研究所 産学連携・知的財産室 室長
ABS学術対策チーム 責任者

鈴木 睦昭



プロフィール 静岡薬科大学博士課程修了。薬学博士。国立遺伝学研究所ABS学術対策チーム創設者であり、環境省「名古屋議定書に係る国内措置のあり方検討会」の委員として、ABS指針の策定に関与した。また、生物多様性条約締約国会議に日本政府団の一員として参加している。

14:05 - 14:20

講演④

「生物多様性条約におけるアクセスと利益配分～デジタル配列情報からの利益配分など最近の話題～」

一般財団法人バイオインダストリー協会 生物資源総合研究所所長 市原 準二



プロフィール 1996年より、住友製薬株式会社（現 住友ファーマ）にて創薬研究に従事。2018年より、住友化学株式会社にて、バイオを活用し社会問題解決に取り組む。2021年より現職。生物多様性条約の締約国会議に政府代表団の一員として参加。遺伝資源へのアクセスと利益配分の課題に取り組む。

14:20 - 15:00

パネルディスカッション・質疑応答

7/27(木)

申込締切

参加申込
(無料、要事前予約)

下記URLからお申し込み下さい。
<https://forms.gle/a66kQERTamY8TyKv7>

QRコードは
こちら



お問い合わせ
東北大学国際法政策センター
TEL : 022 - 217 - 5916
Email : clip@grp.tohoku.ac.jp
Webサイト :
<https://cilptohoku.wixsite.com/my-site>